

日本地震学会男女共同参画推進の取り組み：学会発展の鍵 - 若手研究者育成と男女共同参画

Efforts of SSJ in Equal Participation of Men and Women: Key Issues for the Academic Fields and Promotion of Young Scientists

日本地震学会男女共同参画推進委員会 田島文子 [1]

Tajima Fumiko SSJ Danjo Kyoudou Sankaku Suishin Inkai[1]

[1] -

[1] -

日本地震学会 (Seismological Society of Japan, SSJ) では、2006年連合大会開催中に発足した「日本地球惑星科学連合男女共同参画委員会」に呼応し、でも、男女各5名から成る男女共同参画委員会が発足した。秋季大会中には、男女共同参画推進に関する第一回のシンポジウム (自由な意見交換の場) を開催し、委員がパネリストとして各所属大学・研究所で、女性研究者支援や男女共同参画の取り組みがどのように試行されているかなどについて報告した (口頭発表: 「日本地震学会男女共同参画推進の取り組み - シンポジウムで学んだこと - ; Efforts for Promoting Equal Participation of Men and Women in Seismological Society of Japan: Lessons from a Symposium」参照)。その討論の中でも、期限付きポストについている若手研究者や大学院生が抱えている問題が、具体的に提起され、このような状況のなかで男女共同参画を推進するには、人事・評価制度の中で男女共同参画という視点をどう考慮するかということが、重要課題だと指摘された。一方で、「男女共同参画」というのは、女性の機会均等が法制化され、女性が働く環境が改善されれば済むというような単純な問題ではなく、終局的にはことば通り「共同参画」の思想を深めることであるという視点から、出来るだけ多数の学会員が、「男女共同参画推進グループメンバー」として、このような意見交換に積極的に参加するよう呼びかけている。

このポスターでは、地震学会秋季大会中に開催されたシンポジウムで報告された、各大学・研究所での取り組み、問題点、改善策に関するアイデアなどを紙面が許す限りまとめてみたいと思う。